



芦北町議会だより

うたせ

第71号

令和5年
2月1日発行



(プラスツー)
復興元年+2

前進! 令和2年7月豪雨災害の復旧・復興事業

令和2年災 川口(頭首工)災害復旧工事(湯浦・大川内地区) 1月12日撮影

- 12月定例議会(概要)…………… P2
- 補正予算…………… P3
- 議案の審議結果…………… P4
- 一般質問…………… P5～7
- 特別委員会・常任委員会の閉会中の継続調査…………… P8～9
- 議会のうごき・ちょっといっぷく…………… P10

12月定例議会



12月定例議会は、12月6日に
招集され、12月9日までの4日
間の会期で開催しました。

上程された議案は、令和4年
度一般会計補正予算に係る専決
処分の承認1件、令和4年度一
般会計及び特別会計補正予算7
件、条例の制定1件、条例の一
部改正3件、監査委員の選任に
伴う同意など人事関係9件及び
熊本県市町村総合事務組合規約
の一部改正を含めた合計22件あ
り、いずれも審議の結果、原案
のとおり全会一致で可決しまし
た。

最終日には、3人の議員が登
壇し、町政全般にわたり一般質
問を行いました。

(議案の内容と結果は4ページ
に、一般質問の内容は5〜7ペ
ージに記載)

監査委員の

選任に同意



井川 良一氏
(女島)

平成30年12月に就任され、
今回で2期目になる。

教育委員会委員の

選任に同意

吉田 典博氏 (八幡)

平成26年12月に就任され、
今回で3期目になる。

徳尾 里美氏 (大野)

平成30年12月に就任され、
今回で2期目になる。

固定資産評価審査委員

会委員の選任に同意

石井 忠也氏 (白岩)

平成17年2月に就任され、
今回で7期目になる。

野口博司氏 (小田浦4)

平成29年2月に就任され、
今回で3期目になる。

藤井 哲郎氏 (宮崎)

【新任】

人権擁護委員に推薦

大塚 雄二氏 (田浦4)

平成29年4月に就任され、
今回で3期目になる。

藤井 優一氏 (計石東)

令和2年4月に就任され、
今回で2期目になる。

立岩 登紀子氏 (花岡北)

【新任】

令和4年度 補正予算を承認・可決 4億7,830万円を追加

(金額は1万円未満を四捨五入)

会計名		補正額(増額)	補正後の総額
一般会計		4億6,015万円	145億6,152万円
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)	298万円	34億2,597万円
	介護保険事業	711万円	24億5,767万円
	農業集落排水事業	263万円	4億2,461万円
	町有温泉事業	112万円	1億3,467万円
	奨学資金貸付事業	432万円	3,142万円
今回補正がなかった会計 (後期高齢者医療事業外)			3億8,040万円
合計			214億1,626万円

主な事業

◎一般会計

- ・価格高騰緊急支援給付金事業 1億5,245万円
電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい低所得者世帯に対し5万円/世帯の給付
- ・災害復旧事業(令和2年7月豪雨災害分) 1億2,372万円
- ・災害復旧事業(令和4年豪雨災害分) 4,269万円
- ・キャッシュレス決済ポイント還元事業 4,000万円
町内店舗でのキャッシュレス利用と導入促進
還元率20%(還元上限額 2万円/人・1決済事業者)
- ・原油価格・物価高騰緊急経済対策支援事業 2,523万円
町内商工業者における電力・ガス等の価格高騰に係る負担軽減支援
- ・町有林施業委託事業 1,914万円
地域優良賃貸住宅建築用資材として町有林を活用
- ・中山間地域総合整備事業 1,673万円
- ・芦北町すまい支援事業 1,250万円
浸水被害地域に嵩上げ等の対策を講じた自宅再建者に対する補助 ※追加(25件)分
- ・漁船用燃油価格高騰対策支援事業 170万円
漁船用燃料費の価格高騰に係る負担軽減支援

令和4年 第6回芦北町議会(12月定例会議会) 審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて 令和4年度芦北町一般会計補正予算(第4号)	概要等は、P3に掲載	承認
議案第50号	令和4年度芦北町一般会計補正予算(第5号)		可決
議案第51号	令和4年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決
議案第52号	令和4年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決
議案第53号	令和4年度芦北町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		可決
議案第54号	令和4年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算(第2号)		可決
議案第55号	令和4年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)		可決
議案第56号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	熊本県人事委員会勧告に基づく増額改定 一般職：給料0.3%(平均) 勤勉手当0.1月 再任用・特定任期付き職員 期末手当：0.05月	可決
議案第57号	芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国の特別職に準じた取扱いを行い、町長、副町長、教育長の期末手当を0.05月増額とする改定	可決
議案第58号	芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国の特別職に準じた取扱いを行い、議会議員の期末手当を0.05月増額とする改定	可決
議案第59号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の一括制定	可決
議案第60号	熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	本組合に加盟している構成団体変更に伴う規約の改正	可決
議案第61号	令和4年度芦北町一般会計補正予算(第6号)	概要等は、P3に掲載	可決
同意第3号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	概要等は、P2に掲載	同意
同意第4号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意
同意第5号	監査委員の選任につき同意を求めることについて		同意
同意第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意
同意第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意
同意第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		適任
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	



楠原清照 議員

一般質問(要約)

令和2年7月豪雨における 災害廃棄物の処分結果は！

平年ごみの12.6年分！ 奇跡的な33品目分別処分完遂！

課題は、被災現場における仮置場の確保。今後被災地区と情報共有し対応する。

1 処理体制は、表

答 長崎住民生活課長

混乱の中、被災者優先のもと、熊本県や多くの自治体、関係団体の支援により早期に回収体制を構築し小泉環境大臣からも高い評価を得た。各位に感謝申し上げます。

答 竹崎町長

質 災害廃棄物の処分体制や処分結果及び今後の課題は何か。

(表1) 災害廃棄物の収集・運搬・処理体制

国・熊本県・県内自治体支援体制構築 (7月5日、県へ支援要請)			
災害時における廃棄物の処理等の支援活動に関する協定書発動 (熊本県⇄社熊本県産業資源循環協会)			
収集運搬	仮置場 (5か所・12種分別受入) 3業者と管理運営委託締結 (7/7) 県内市町村支援 延べ447人	運搬処分	結果
被災現場収集業務 (7/9契約、体制確立実働) バッカー車等巡回収集→被災者等持込み 軽トラック等→公費解体 トラック等→	計石	R2/7/5開設 適宜閉鎖	12→33種分別運搬 29か所の処分場へ コンクリートガラ 20,304 t (再生路盤材リサイクル) 木クズ 6,600 t (チップ化リサイクル) 量 792 t その他 14,510 t
	大野		
	田浦 (清掃センター)	R2/7/8 開設 R3/12/1 閉鎖	発生ごみ処分量 42,206 t (R3年度総処理量の12.6年分) 総事業費 26億3,900万円
	湯浦		
	田浦 (松ヶ崎)		

(表2) 有害鳥獣被害の現状や今後の対策等

被害の現状 (R3年度)	駆除体制	捕獲許可	駆除実績 (頭)			今後の対策	
			年度	シカ	イノシシ		計
【農作物】被害面積 15.84ha 被害額 1,573万円	猟友会 (135名) と連携し 猟銃・ワナ 駆除	141名 (猟友会員 135名 外6名)	R元	311	699	1,010	有害鳥獣被害防止対策協議会と連携を密にし、捕獲・防護両面から強化 ※シカの場合 括りワナ設置数増 ICT (情報通信技術) 活用 国庫補助防護柵設置
			R2	415	774	1,189	
			R3	629	726	1,355	
【森林】被害面積 139.83ha ※人工林面積の 1.2%	※狩猟免許 取得者 195名 ※地域おこし協力隊 1名配置	内訳	R4.11末	832	1,063	1,895	捕獲後の処分 捕獲者自らが所有地に埋設
		ワナのみ92名	【補助金交付実績】防護柵設置 85件 503万円 ワナ免許取得 5件 6万円 捕獲 1,387頭 726万円 ※イノシシ・シカ 12,000円/頭 (県 7,000円・町 5,000円)				
		銃のみ10名					
		両方39名					

【提言等】①緊急対策の計画実施を！②大規模集中捕獲の実施を！③捕獲補助金を1年通して交付を！④捕獲補助金を非課税に！⑤ムジナ等小動物捕獲強化対策を！⑥捕獲後処分先の確保等検討を！

(表3) 学校給食の安全安心、地産地消の取組

給食センターの現状	安全安心の取組	地産地消の取組
町内小中学校 8校外 給食1,200人分提供 職員等所長以下 5人 (うち栄養士2人) 調理業務：民間委託	「学校給食衛生管理基準」に則り運営 調理場内：フルドライ方式 紫外線細菌除去装置設置 異物混入防止検査、監視職員 衛生検査・研修実施 アレルギー専用調理室作業区分 導線管理で混同防止	米や旬の食材を中心に、地元生産者等から購入 献立表や給食だよりで地産地消を周知 各学校で栄養士指導時に地産地消の学習実施

【提言等】①オーガニック (有機野菜や自然栽培等化学肥料と農薬を使用しない農法で栽培された農産物) 給食の積極導入を！ ②まずは米の全量をオーガニックに！

深刻な事態であると認識している。その他は表2のとおり。

答 重要課題であり対策の強化を進め「芦北モデル」の構築を目指す。 梶農林水産課長

答 竹崎町長

有害鳥獣による被害 対策の強化策は！

安全安心、栄養バランスの取れた給食を提供している。

答 岩田教育長

学校給食の安全安心と 地産地消は！

表3のとおり。

答 田代教育課長

一般質問(要約)



百田翔吾 議員

芦北町職員の働く環境とメンタルヘルス支援は！

質 本町職員は、芦北町を支える大きな縁の下の力持ちであり、本町の維持、成長、発展には必要不可欠な存在である。近年、男女共同参画基本法をベースに、全国各地で男女共同参画が推進されている。本町職員の男女比率はどうかっているのか。

答 松本総務課長
令和4年4月1日現在での数値は、男性職員167人、比率77%、女性職員50人、比率23%となっている。

質 有給休暇、育児休業等の取得状況はどうなっているのか。

答 松本総務課長
直近3年間の年次有給休暇の職員1人当たりの取得状況は、令和元年度が8.1日、令和2年度が7.2日、令和3年度が7.7日となっている。

質 本町職員へのメンタルヘルス支援及び休職職員に対する復職支援はどうかしているのか。

答 松本総務課長

メンタルヘルスについては、労働安全衛生法及び芦北町職員安全衛生管理規定に基づいて、平成24年度からメンタルヘルス専門の産業医を選任している。また、全職員を対象にシートを用いたストレスチェックや職員向けのメンタルヘルス研修会を開催し、産業医と連携したメンタル不調の予兆把握や予防に努めている。さらに、残業時間が80時間を超える職員については、産業医への情報提供を行うとともに、産業医との面談を勧奨しており、早期対応に資する体制をとっている。加えて、入庁1年目の職員に対しては、先輩職員1名をマツチングして、相談や助言を行う「メンター・メンティ制度」を設けており、マンツーマンでのフォローを行っている。

休職職員の復職支援については、休職期間中においても定期的な主治医の診察及び総務課職員による現状把握のための面談を逐次行っている。復職支援に当たっては、芦北町職員試し出勤実施要綱に

基づき、医師からの診断を踏まえ1か月の範囲内で試験的に勤務させる試し出勤を取り入れ、状況や体調を考慮しながら、復職に向けた環境づくりに取り組んでいる。

小中学校の新型コロナウイルス感染症予防対策は！

質 新型コロナウイルス感染症予防対策については、世界各地、全国各地でも規制の緩和が進んできている。本町小中学校における新型コロナウイルス感染症予防対策は、現在どうなっているのか。

答 田代教育課長

現在の新型コロナウイルス感染症予防対策については、熊本県教育長からの通知に基づき、感染症防止対策の徹底を図っている。具体的には、これまで行ってきた手洗いなどの手指消毒、マスク着用、室内換気などの基本的な感染症防止対策のほか、授業に関しては、熊本県のリスクレベルに応じた対応を行っている。

小中学校校則の見直しは！

マスクの着用についても、文部科学省からの通知に基づき、活動場所や活動場面に応じて対応している。例えば体育の授業や部活動、登下校の際には感染対策を行うことで、マスクの着用は求めている。町は、これまで体温検知力メラなどの設置や手洗い場の増設のほか、遠隔授業に対応できる環境整備を行っている。

質 時代の流れとともに、この一年、学校校則の見直しも全国的な話題となっている。小中学校の校則に児童生徒及び保護者の意見は反映されているか。

答 岩田教育長

毎年、学年末や学年始めの職員会議で見直すとともに、児童生徒等から要望があった場合は、必要に応じて見直しを行っている。見直しを行う際は、保護者や児童生徒にアンケートを実施している。



川尻成美 議員

一般質問(要約)

コロナ禍における物価高 町独自の対応はどうなっているのか!

新型コロナウイルス感染症は、収束の見通しが立たず、物価高も続いており、景気の減速とともに町民の生活も厳しくなっていると思われる。

質 住民税非課税世帯などに国が支給する5万円(価格高騰緊急支援給付事業)とは別に、住民税非課税世帯などを対象とした芦北町独自の支援を行う考えはないか。

また、商工業者及び農林水産業者に芦北町独自の支援を行う考えはないか。

答 竹崎町長

本町においては、新型コロナウイルス感染症が確認された令和2年から国民健康保険税の減免や安心子育て応援給付事業、生活応援券事業、農林漁業応援給付事業、キャッシュレス決済によるポイント還元事業など、すでに累次にわたる独自の支援策を講じている。さらに、本定例会においても新たな支援策(表1)の追加を提案しており、今後も、国の対策を注視しながら関係機関との連携・調整を図り、必要な支援策を検討する。

答 池田福祉課長

住民税非課税世帯などに

(表1) 新たな支援策の主なもの (単位: 千円)

事業名	予算額
価格高騰緊急支援給付事業 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ家計への影響が大きい低所得者に対し1世帯あたり5万円の給付	152,450
保育所等電力・ガス等高等対策支援事業 保育所等における電力・ガス等の価格高騰に係る負担軽減支援	2,240
施設整備における建築資材価格高騰対策支援事業 保育所等整備事業を活用し施設整備を実施している事業者への建築資材価格高騰対策支援	9,541
漁船用燃油価格高騰対策支援事業 漁船用燃料費の価格高騰に係る負担軽減支援	1,700
キャッシュレス決済ポイント還元事業 町内店舗におけるキャッシュレス利用と導入促進 還元率20%(還元上限額2万円/人・1決済事業者)	40,000
原油価格・物価高騰緊急経済対策支援事業 町内商工業者における電力・ガス等の価格高騰に係る負担軽減支援	25,230
臨時奨学資金給付 奨学資金貸与者に対し物価高騰対策として月1万円給付	4,320

総額1億8千550万円の補助金等を支出している。なお、今後の物価高騰対策としては、町内商工業者に対して、年間事業収入に応じて、総額2千523万円の支援金を給付するほか、第2弾のキャッシュレス決済ポイント

【まとめ】
これまでのコロナ対策、物価高騰対策等には国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(コロナ交付金)を活用し、芦北町独自の事業を実施されていることは、十分理解している。
今後も災害復旧に加えコロナ禍や物価高は続くと思われるので、消費者の声を把握され新年度の予算に対しては、十分配慮していただきたい。

は、令和3年度から国の経済対策などにより、1世帯10万円の支援を実施した。今回、価格高騰緊急支援給付事業により、1世帯5万円がさらに支援されるが、これまでコロナ禍及び価格高騰が要因となる生活困窮の相談等はあつていない。
令和3年度から住民税非課税世帯やひとり親の子育て世帯を対象に、国の「子育て世帯生活支援特別給付金」により対象児童1人につき5万円の支援などを実施した。また、本町では、18歳までの子ども医療費無償化や保育園児の副食費無償化などにも

取り組みんでいる。このような状況などを踏まえ、現在のところ住民税非課税世帯などを対象とした町独自の支援を行う考えはないが、今後も引き続き、国、県による支援施策の動向を注視する。
答 釜商工観光課長
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった令和2年3月から、5年間の災害時等特別資金利子補給補助金など、商工業者に対する支援を強化している。
また、令和3年度までにコロナ対策と災害復旧対策を合わせ15事業、総額1億8千550万円の補助金等を支出している。

ト20%還元事業を4千万円の予算で実施する。
答 梶農林水産課長
新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、事業継続支援金や利子補給補助金など農林漁業者に対する支援を強化している。令和3年度までに10事業、総額3千351万円の補助金等を支出している。
また、これまで漁協の経営支援として新型コロナウイルス感染症対応水産業振興補助金2千293万円や畜産農家の飼料高騰対策として、畜産経営継続支援事業補助金を予算化している。新たな対策としては、漁船用燃油価格高騰対策支援事業を170万円の予算で実施する。

寺本修一議員に「総務大臣感謝状」の贈呈

10月24日、東京都のホテルルポール麹町において、町議会議員として35年以上在職し、地方自治及び議会の発展に尽力されています寺本修一議員に、総務大臣から感謝状が贈呈されました。

なお、寺本修一議員は、「このような有難い感謝状を頂戴できましたのは、町民の皆様をはじめ多くの方々の御理解と御支援のおかげです。今後も、ますます精進しなければならぬと、改めて感じております。」と力強く喜びの感想を述べられました。



令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会

災害復旧事業の調査：災害復旧は着実に前進！（全体の完成率は、約50%）

委員長：宮尾 秀行 副委員長：楠原 清照

委員：寺本 修一・川尻 成美・坂本 登・林田 耀宏・長口 隆

11月15日、令和2年7月豪雨災害復旧事業について、治山事業（田川地区・花岡地区）、頭首工復旧事業（国見地区・告地区）、農地復旧事業（宮浦地区）の現地調査を行い、工事の進捗状況等を確認しました。

各工事現場の状況等については、林野庁九州森林管理局、熊本県芦北地域振興局及び芦北町農林水産課の職員から説明を受けるとともに、災害については、令和2年だけでなく、令和3年及び4年にも発生しており、全体的な復旧

に苦慮されている面もあるが、安全な工事監理を行い、一日も早い創造的復興の実現に向け、精一杯頑張ってもらいたい旨の要望を致しました。

また、復旧工事全体の完成率は、スピード感を持って計画的に取り組まれた関係各位の御尽力により、12月末時点で約50%となり、その成果も町内各地で現れており、着実に前進しています。なお、当委員会では、今後も創造的復興の早期実現に向け、継続して調査を行います。



治山事業の調査【佐敷新町 實照寺の裏山】

総務厚生常任委員会

危機管理体制の調査：避難所運営等に住民の声届く！

委員長：林田 燿宏 副委員長：楠原 清照

委員：岡部恵美子・川尻 成美・元山 秀志・百田 翔吾



花岡高台避難場所

11月17日、災害に対する危機管理体制について調査を実施しました。

担当の総務課では、令和3年7月新たに危機管理防災室を新設及び危機管理監を採用し、現在5名体制となっています。

令和2年の7月豪雨災害後、台風や大雨などにより、自主避難されていますが、そのたびに避難所の運営も改善され、コロナ感染対策のプライバシーシールド、簡易ベッド、マット等の増設や今年度はペット避

難所も新たに開設され、住民の声が十分に活かされています。

委員から芦北インターから見える花岡高台は、供用されているのかとの質問があり、大雨時に車両等の避難場所として2回開設し、約30台の利用があったとの説明がありました。

なお、当委員会では、今後も災害に強いまちづくりのため、危機管理体制については、継続して調査を行います。

建設経済文教常任委員会

給食センターの調査：施設の衛生管理やアレルギー対策等も万全！

委員長：草野 安道 副委員長：白坂 康浩

委員：寺本 修一・宮尾 秀行・寺本 順一・坂本 登・長口 隆

11月21日に学校給食センターの施設管理及び運営に関する調査を実施しました。

まず、教育課から事業概要の説明を受け、施設（調理室）を見学、質疑応答を行い、最後に地元食材が使われたその日の献立の給食を食べ、今の児童・生徒がどのような給食を食べているのかを体験しました。

委員からアレルギー対応食は全体の何%で、どのような対応を取っているのかとの質問があり、全体の1.7%の18人分で、献立は変えず、アレルギーのない代替食材で対応しているとの説明がありました。

※調査の概要は左のとおりです。

- 【施設】 平成23年度竣工(築11年)
- 【給食数】 小学校児童665人、中学校生徒384人、教職員168人、芦北支援学校等35人 計1,252人分
- 【地産地消の取組】 団体(5団体)、個人(10人)計23品目購入
- 【運営について】 令和4年度から「調理業務」を民間委託13～15名体制で調理
- 【物価高騰に伴う助成】 食材費の高騰分(約10%)を町から給食運営委員会へ助成

◆給食(牛乳、チーズパン、甘夏サラダ、パンネのクリームスープ) ◆2階会議室からの調理作業風景



議会のうごき

- 10月31日 南九州西回り自動車道の早期実現に関する要望活動(福岡市)
- 11月 9日 第66回町村議会議長全国大会(東京都)
 - 10日 水俣・芦北地域振興計画の推進に係る要望活動(東京都)
- 11日 南九州西回り自動車道建設促進大会(東京都)
- 15日 令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会(閉会中の継続調査)
- 17日 総務厚生常任委員会(閉会中の継続調査)
- 18日 和水町議会総務文教常任委員会視察研修来町
- 21日 建設経済文教常任委員会(閉会中の継続調査)
- 24日 熊本県町村議会議長会(議会広報研修会)
- 30日 議会運営委員会
全員協議会
- 12月 4日 球磨川流域橋梁(坂本橋・鎌瀬橋・大瀬橋・松本橋・沖鶴橋)着工式典
 - 6日 12月定例議会(議案審議)
 - 9日 12月定例議会(一般質問)
議会広報委員会
 - 20日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
- 1月16日 議会広報委員会

次の議会は3月上旬の予定です

熊本県町村議会広報研修会



越地氏(左から2人目)の進行によるパネルディスカッション

11月24日、グランメッセ熊本において、町村議会広報研修会が開催され、議会広報委員4名が参加しました。

今回は、議会広報ファシリテーターの越地真一郎氏の進行により、熊本県町村議会広報コンクールで入選された議会の広報委員長5人が「パネリスト」として、「何が、どう違うのか」というテーマでパネルディスカッションが開催されました。

各パネリストからは、企画から編集まで編集委員のみで苦労しながら行っている実情や、特集記事を掲載する際の工夫等について発言がありました。

また、全体講評の中では、企画力を発揮した特集記事が効果的であり、「伝える」と「伝える」の差を考え、読み手を「おっと！」と思わせる工夫が必要である等の助言があり、たいへん参考になりました。

本町は、議会広報コンクールに議会だより第68号を提出しましたが選外となり、審査員からは、①全体的に古臭い②見出しの工夫が必要③委員長報告は読ませる工夫が足りないなど厳しい指摘がありましたので、今回の評価や本委員会の編集方針を踏まえ更なる紙面刷新を図ります。

(楠原清照)

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しております。

議会広報委員会

委員長	副委員長	委員
楠原清照	川口成美	宮尾秀行
林田燿宏	寺本順一	宮尾秀行

新年こそは災害もなく平穏な一年になるよう願うとともに、さらに信頼される議会活動をしなければならぬと思った年末年始でした。

(宮尾秀行)

世の中には信頼で成り立つっており、多くの人を運ぶ旅客機も極小の半導体の信号で操縦する信頼がなければ乗れません。大臣も教師も地方議員も信頼が無くなれば資質が問われます。

日本人を信頼して母国を旅立つた外国の若者を「労働者」として受け入れたなら、謙虚な心で接するべきだと思います。

昨年末の新聞記事に「技能実習制度存続廃止含め検討」とありました。

